

第 22 回日本消化管学会総会学術集会・第 19 回日本カプセル内視鏡学会学術集会 合同セッション（ワークショップ）  
「繰り返す原因不明消化管出血に対するストラテジー」

司会 大宮 直木（藤田医科大学医学部先端光学診療学講座）  
岡 志郎（広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学）

近年、小腸の精査を行っていない従来の（広義の）OGIB は小腸出血疑い（suspected SBB）とされ、小腸まで検索しても出血源が同定できないものを狭義の OGIB とするようになった。しかし、OGIB の約半数は出血源が特定されず再出血を繰り返し、入院の反復や輸血を必要とすることもある。本セッションでは、狭義・広義の OGIB を対象とし、病態、再出血リスクの要因、診断ストラテジー やサーベイランス法などについて幅広く議論したい。多数の演題応募を期待する。